

滋賀県内企業動向調査 ～2024年7-9月期の実績見込みと10-12月期の見通し～ 景況感は2四半期連続で改善

(株)滋賀銀行のシンクタンクである(株)しがぎん経済文化センター(取締役社長 波田 晋一)では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2024年7-9月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査(2024年7-9月期)
- ・調査時期：2024年8月5日～27日
- ・調査方法：郵送またはFAXによる配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業882社
- ・回答数：233社(有効回答率26%)うち製造業93社、非製造業140社
- ・分析手法：DI(ディフュージョン・インデックス)
=「増加(かなり良い・やや良い・上昇・過剰等)」の回答割合から、
「減少(かなり悪い・やや悪い・低下・不足等)」の回答割合を引いた指数を採用

【調査結果の要旨】

1. 現在の業況判断(P2～4)

- ・今回調査(24年7-9月期)での自社の業況判断DIは▲6で、前回(4-6月期)の▲14から8ポイント上昇し、2四半期連続で改善。3四半期ぶりにマイナス1ケタ台まで回復した。物価の高騰や人件費の上昇に加え、中国景気減速などの影響はあるものの、昨年末から一部大手自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が和らいだことから、県内の景況感は緩やかに持ち直している。
- ・製造業は▲13と、前回の▲26から13ポイントの大幅上昇となった。食料品(+30→▲30)はプラス水準からマイナス水準に転じ、窯業・土石(+40→0)はプラス水準からゼロとなったが、金属製品(▲39→+33)や非鉄金属(▲20→+33)はマイナス水準からプラス水準に転じ、その他の製造業(▲50→▲9)などはマイナス幅が縮小し、化学(▲13→0)はマイナス水準からゼロとなった。
- ・非製造業は▲2で、前回の▲4から2ポイント上昇し、2四半期連続でマイナス1ケタ台となった。小売(0→▲39)はゼロからマイナス水準となり、卸売(▲9→▲20)はマイナス幅が拡大したが、不動産(+15→+46)やサービス(+14→+32)はプラス幅が拡大し、その他の非製造業(▲25→0)や運輸・通信(▲15→0)はマイナス水準からゼロとなった。
- ・3カ月後(10-12月期)は、製造業が3ポイント低下(▲13→▲16)、非製造業がほぼ横ばい(▲2→▲1)、全体でもほぼ横ばいの見通し(▲6→▲7)。

2. その他の判断項目(P5～8)

- ・売上DI(▲16→+1)は17ポイントの大幅上昇となり、3四半期ぶりにプラス水準まで回復。
- ・経常利益DI(▲18→▲14)は4ポイント上昇するも、12四半期連続のマイナス水準。
- ・製・商品の在庫DI(+11→+5)は6ポイントの低下。
- ・販売価格DI(+27→+26)はほぼ横ばい。
- ・仕入価格DI(+58→+58)は横ばい。
- ・販売価格DIから仕入価格DIを引いた値(▲31→▲32)はほぼ横ばいとなった。円安による輸入物価の高騰などから仕入価格が高止まりし、企業の収益面での課題となっているとみられる。
- ・生産・営業用設備DI(0→▲3)は3ポイント低下し、2四半期ぶりに不足となった。
- ・雇用人員DI(▲27→▲32)は5ポイント低下した。業種別にみると、製造業(▲13→▲20)は7ポイント低下、非製造業(▲37→▲40)も3ポイントの低下となった。両業種で不足感が強まり、特に非製造業では不足感の強い状態が続いている。

(次ページに続く)

3. 設備投資の実施状況 (P 9・10)

- ・設備投資を実施した(する)企業の割合は51%で、前回(51%)から横ばいとなり、2四半期連続で50%を上回った。3カ月後(10-12月期)は41%となり、再び50%を下回る見通しである。
- ・主な投資内容は、「生産・営業用設備の更新」が最も多くなった(32%)。業種別にみると、製造業では「生産・営業用設備の更新」(46%)、非製造業では「車両の購入」(38%)が最も多い。

以上

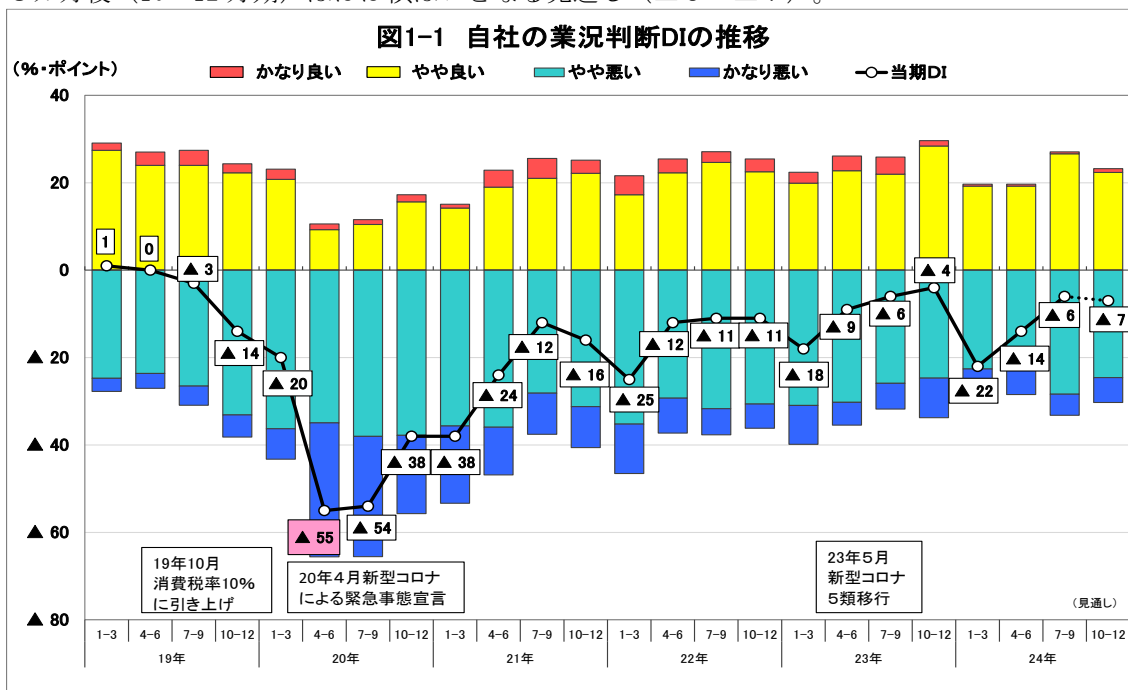
【お問い合わせ先】 榊しがぎん経済文化センター
産業・市場調査部 北村 美弘 (TEL: 077-526-0005)

1. 自社の業況判断

(1) 自社の業況判断DI…2四半期連続で改善し、3四半期ぶりにマイナス1ケタ台まで回復

① 全体の動向 (図1-1)

今回の調査(24年7-9月期)での自社の業況判断DIは▲6で、前回(4-6月期)の▲14から8ポイント上昇し、2四半期連続の改善となり3四半期ぶりにマイナス1ケタ台まで回復した。物価や人件費の高騰に加え、中国景気減速などの影響はあるものの、一部大手自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が和らいだことから県内の景況感は緩やかに持ち直している。3カ月後(10-12月期)はほぼ横ばいとなる見通し(▲6→▲7)。



② 業種別の動向 (図1-2、表1-1)

業種別にみると、製造業は▲13と、前回の▲26から13ポイントの大幅上昇となったものの、7四半期連続でマイナス2ケタ台となった。食料品(+30→▲30)はプラス水準からマイナス水準に転じ、窯業・土石(+40→0)はプラス水準からゼロとなったが、金属製品(▲39→+33)や非鉄金属(▲20→+33)はマイナス水準からプラス水準に転じ、その他の製造業(▲50→▲9)などはマイナス幅が縮小し、化学(▲13→0)などはマイナス水準からゼロとなった。3カ月後は3ポイント低下(▲13→▲16)となる見通しである。

非製造業は▲2で、前回の▲4から2ポイント上昇し、2四半期連続でマイナス1ケタ台となった。小売(0→▲39)はゼロからマイナス水準となり、卸売(▲9→▲20)はマイナス幅が拡大したが、不動産(+15→+46)やサービス(+14→+32)はプラス幅が拡大し、その他の非製造業(▲25→0)や運輸・通信(▲15→0)はマイナス水準からゼロとなった。3カ月後はほぼ横ばい(▲2→▲1)となる見通しである。

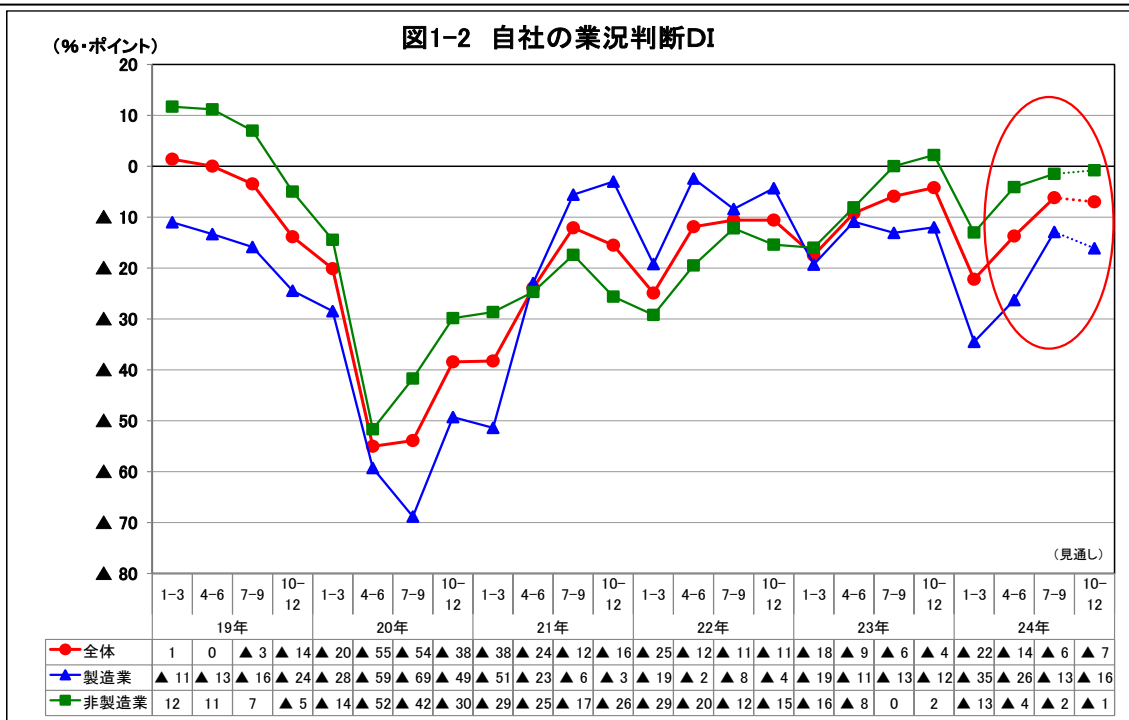


表1-1 自社の業況判断DI(業種別)

業種(※1)	今回の回答社数	24年 4-6月期 前回	24年 7-9月期 今回(※2)	24年 10-12月期 見通し
全体	229	▲14	▲6 (▲10)	▲7
製造業	93	▲26	▲13 (▲13)	▲16
繊維	7	▲63	▲57 (▲50)	▲43
木材・木製品	×	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	5	▲13	0 (▲13)	0
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	3	40	0 (0)	0
鉄鋼	3	▲33	▲67 (0)	▲33
非鉄金属	3	▲20	33 (20)	33
食料品	10	30	▲30 (30)	▲10
金属製品	15	▲39	33 (▲17)	▲13
一般機械	8	▲20	▲25 (0)	▲13
電気機械	8	▲10	0 (11)	25
輸送用機械	×	×	×	×
精密機械	×	×	×	×
その他の製造業	23	▲50	▲9 (▲17)	▲22
非製造業	136	▲4	▲2 (▲8)	▲1
建設	44	▲11	▲2 (▲11)	5
不動産	11	15	46 (23)	46
卸売	25	▲9	▲20 (▲21)	▲32
小売	18	0	▲39 (5)	▲12
運輸・通信	10	▲15	0 (▲42)	▲30
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	19	14	32 (14)	21
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	7	▲25	0 (▲38)	0

(※1) 回答数が2社以下の業種は非表示(×)

(※2) ()内の数値は前回調査時点での24年7-9月期の見通し

(2) 前年同期を100とした売上高…製造業、非製造業ともに前年を下回る(表1-2)

前年同期を100とした売上高を業種別にみると、24年4-6月期(確定分)は製造業が97.4で2.8ポイントの上昇、非製造業が97.0で2.7ポイントの低下、全体では97.2で0.1ポイントの低下となった。24年7-9月期(見込み)は、製造業が98.9で1.5ポイント上昇、非製造業が102.3で5.3ポイント上昇、全体では101.0で3.8ポイントの上昇となる見通し。

表1-2 前年同期を100とした売上高(業種別)

業種(※1)	今回の回答社数	24年1-3月期 前回	24年4-6月期(確定分) 今回(※2)	24年7-9月期 見込み
全体	233	97.3	97.2 (98.4)	101.0
製造業	93	94.6	97.4 (97.8)	98.9
繊維	7	97.6	99.5 (97.3)	97.2
木材・木製品	×	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	5	99.0	114.4 (103.4)	116.4
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	3	95.0	89.3 (97.3)	86.7
鉄鋼	3	90.9	100.0 (93.8)	93.3
非鉄金属	3	82.8	93.3 (85.6)	100.3
食料品	10	97.2	95.3 (100.3)	101.2
金属製品	15	96.6	95.4 (97.4)	95.9
一般機械	8	88.6	97.4 (110.5)	85.0
電気機械	8	94.3	89.6 (95.8)	98.4
輸送用機械	×	×	×	×
精密機械	×	×	×	×
その他の製造業	23	95.0	101.3 (95.7)	103.8
非製造業	140	99.7	97.0 (98.9)	102.3
建設	44	98.3	90.2 (95.6)	95.2
不動産	11	92.6	101.9 (96.4)	137.9
卸売	25	93.3	98.2 (92.6)	98.0
小売	19	95.3	94.0 (97.9)	97.8
運輸・通信	10	96.7	105.8 (98.3)	102.1
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	21	105.2	106.6 (104.3)	106.1
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	8	137.6	91.1 (128.7)	101.4

(※1) 回答数が2社以下の業種は非表示(×)

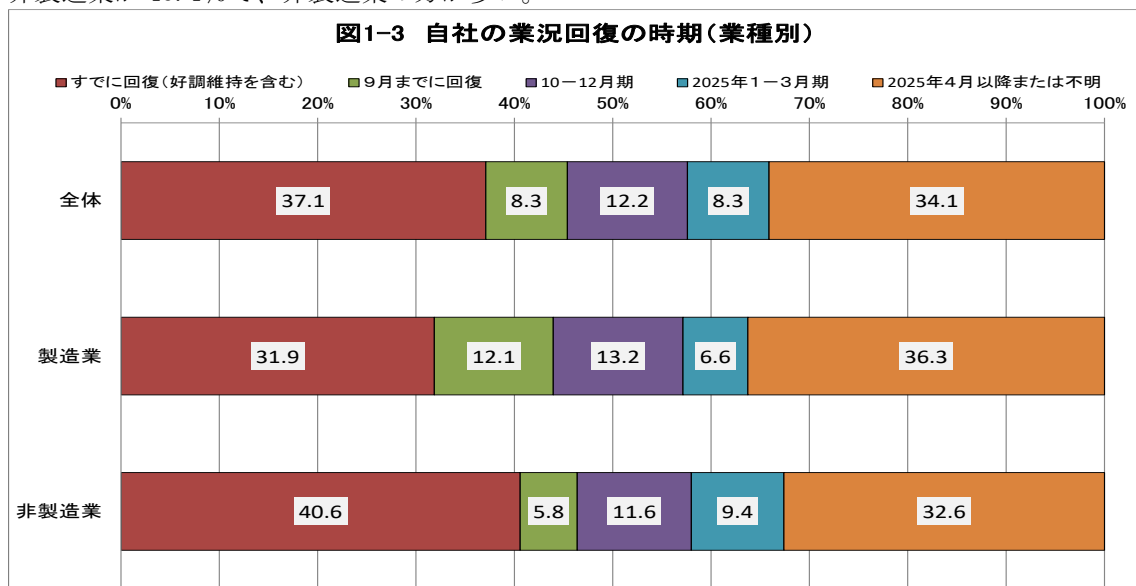
(※2) ()内の数値は前回調査時点での24年4-6月期の見通し

(3) 業況回復の時期…「9月までに回復」(すでに回復を含む)が4割半ば(図1-3)

自社の業況回復の時期は、「9月までに回復」(すでに回復を含む)が45.4%で、前回(「6月までに回復」(すでに回復を含む)、40.9%)から4.5ポイントの上昇となった。一方、半年以上先の「25年4月以降」(回復時期不明を含む)は34.1%で、前回(「25年1月以降」(回復時期不明を含む)、30.5%)から3.6ポイントの上昇となった。

業種別では、「9月までに回復」(すでに回復を含む)した企業の割合は、製造業が44.0%、非製造業が46.4%で、非製造業の方が多い。

図1-3 自社の業況回復の時期(業種別)



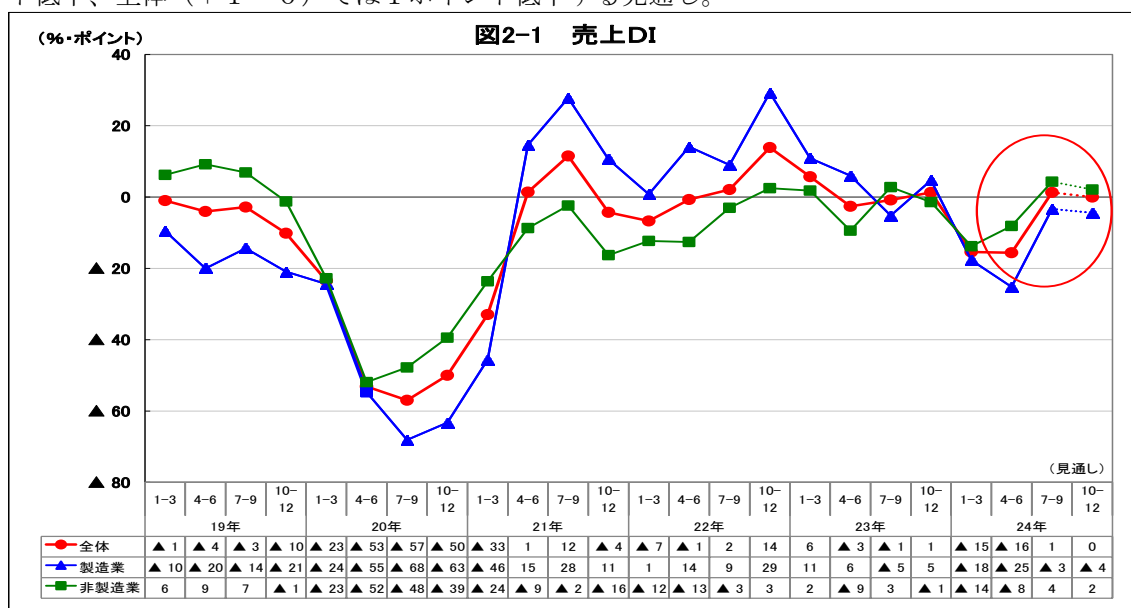
2. その他の判断項目

(1) 売上DI…3四半期ぶりにプラス水準(図2-1)

現在の売上DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は+1で、前回の▲16から17ポイントの大幅上昇となり、3四半期ぶりにプラス水準となった。

業種別では、製造業(▲25→▲3)は22ポイントの大幅上昇となり、依然マイナス水準であるものの、ゼロ近くまで回復した。非製造業(▲8→+4)も12ポイントの大幅上昇となり、4四半期ぶりにプラス水準を回復した。

3カ月後は、製造業(▲3→▲4)は1ポイント低下、非製造業(+4→+2)は2ポイント低下、全体(+1→0)では1ポイント低下する見通し。

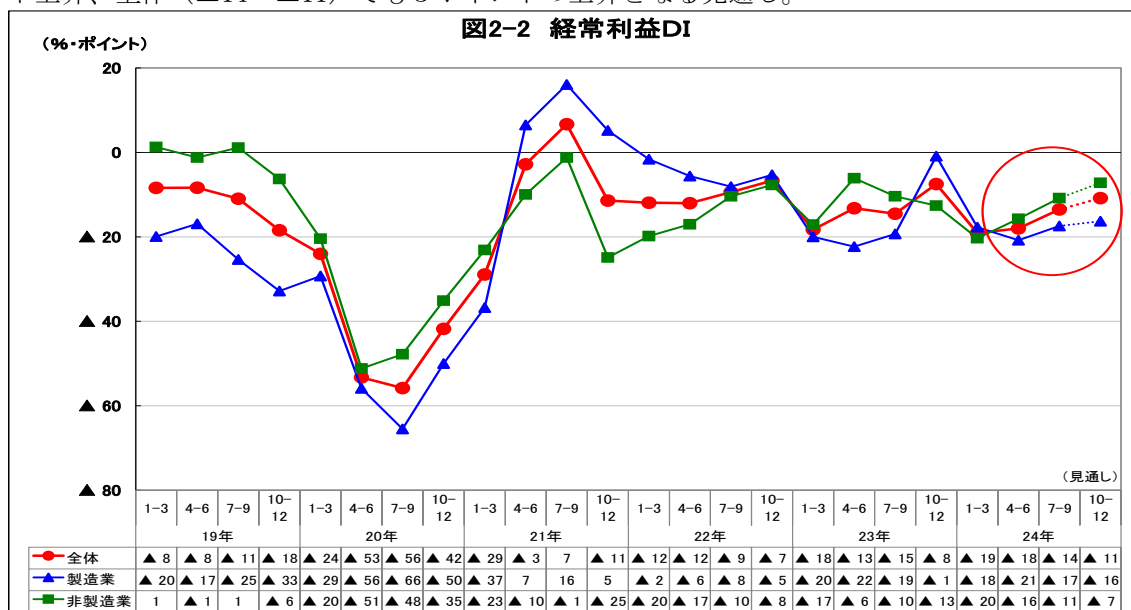


(2) 経常利益DI…前回から改善するも、12四半期連続のマイナス水準(図2-2)

現在の経常利益DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は▲14で、前回(▲18)から4ポイント上昇するも、12四半期連続のマイナス水準となった。

業種別にみると、製造業(▲21→▲17)は4ポイントの上昇、非製造業(▲16→▲11)は5ポイントの上昇となった。

3カ月後は、製造業(▲17→▲16)は1ポイント上昇、非製造業(▲11→▲7)は4ポイント上昇、全体(▲14→▲11)でも3ポイントの上昇となる見通し。

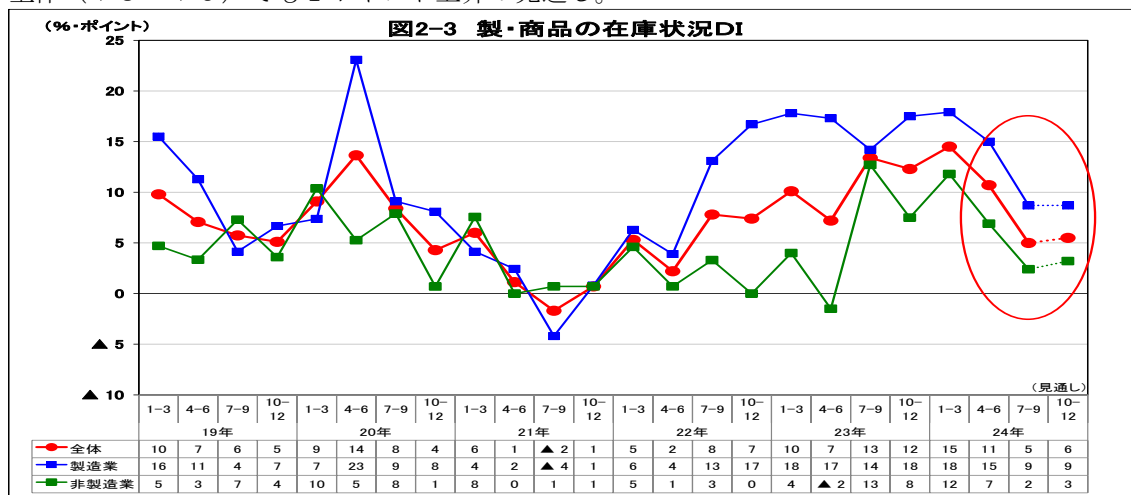


(3) 製・商品の在庫状況DI…製造業、非製造業ともに過大感が弱まる(図2-3)

現在の製・商品の在庫状況DI(「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は+5で、前回(+11)から6ポイント低下し、2四半期連続で過大感が弱まった。

業種別にみると、製造業(+15→+9)は6ポイント低下し、過大感が弱まった。化学(+13→+20)や繊維(+25→+29)などで過大感が強まったが、電気機械(+40→+25)などで過大感が弱まり、その他の製造業(+17→▲5)は過大から不足に転じ、窯業・土石(▲20→▲33)は不足感が強まった。非製造業(+7→+2)は5ポイント低下し、過大感が弱まった。建設業(+3→+10)は過大感が強まったが、運輸・通信(+20→0)は過大感が解消し、不動産(0→▲36)やその他の非製造業(▲17→▲33)などで不足感が強まった。

3カ月後は、製造業(+9→+9)は横ばい、非製造業(+2→+3)は1ポイント上昇、全体(+5→+6)でも1ポイント上昇の見通し。

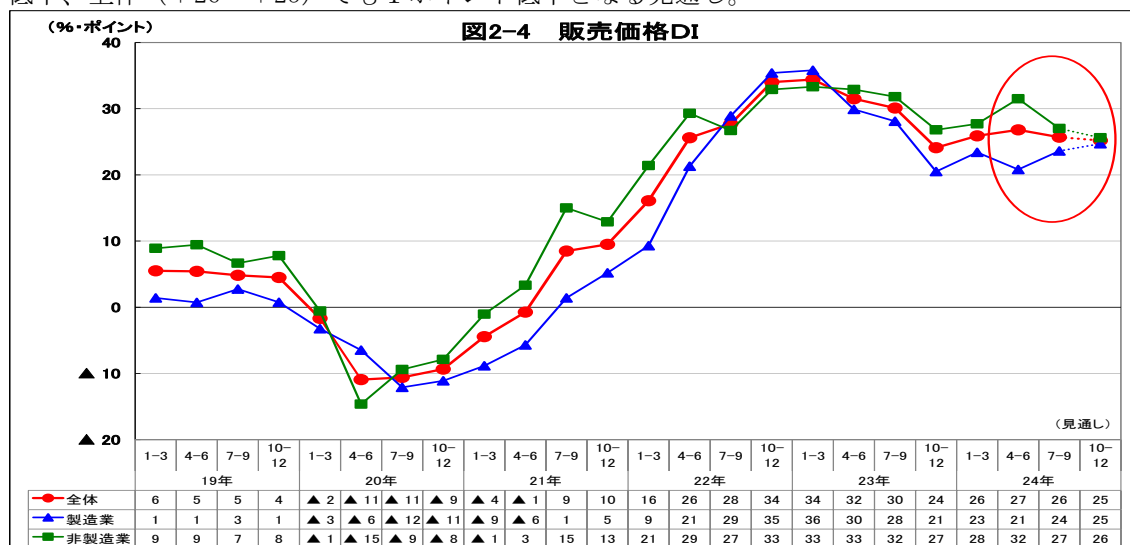


(4) 販売価格DI…製造業は2四半期ぶりに上昇、非製造業は3四半期ぶりに低下(図2-4)

現在の販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+26で、前回(+27)から1ポイント低下となった。

業種別にみると、製造業(+21→+24)は2四半期ぶりに上昇した。鉄鋼(+33→▲33)はプラス水準からマイナス水準に転じ、窯業・土石(+20→+0)はプラス水準からゼロとなったが、化学(+25→+40)や非鉄金属(+20→+33)などでプラス幅が拡大した。非製造業(+32→+27)は3四半期ぶりに低下した。小売(+46→+58)やサービス(+25→+32)などでプラス幅が拡大したが、その他の非製造業(+29→+0)はプラス水準からゼロとなり、卸売(+55→+32)などでプラス幅が縮小した。

3カ月後は、製造業(+24→+25)は1ポイント上昇、非製造業(+27→+26)は1ポイント低下、全体(+26→+25)でも1ポイント低下となる見通し。

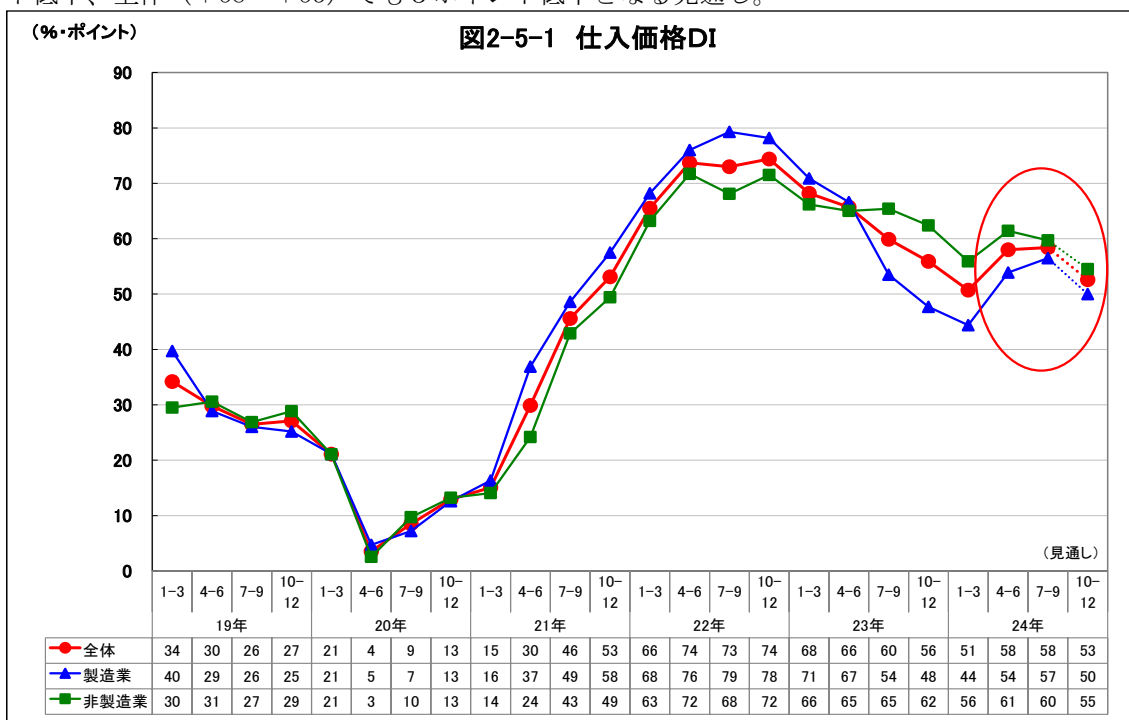


(5) 仕入価格DI…前回から横ばいで、高水準が続く(図2-5-1)

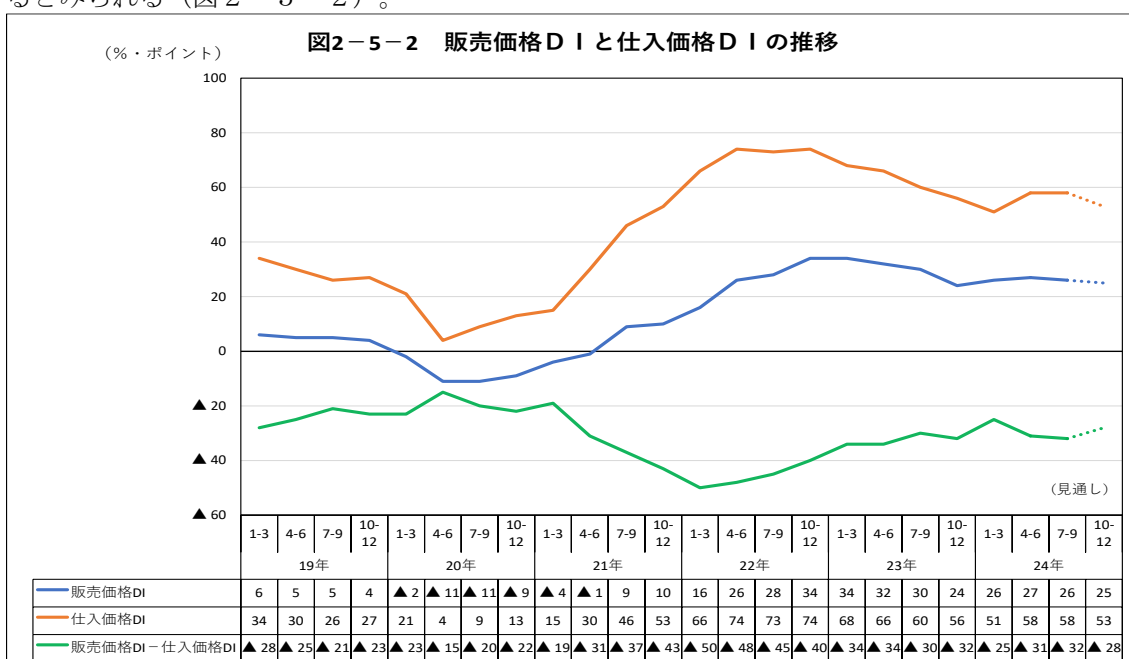
現在の仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+58で、前回(+58)から横ばいとなった。円安に伴う輸入物価の高騰などの影響で、高水準が続いている。

業種別にみると、製造業(+54→+57)は3ポイント上昇した。非鉄金属(+80→+33)や鉄鋼(+33→0)などで低下したが、繊維(+50→+86)や一般機械(+40→+63)などで上昇した。非製造業(+61→+60)は1ポイント低下となった。小売(+50→+68)や不動産(+25→+40)などで上昇したが、その他の非製造業(+50→+17)や卸売(+81→+56)などで低下した。

3カ月後は、製造業(+57→+50)は7ポイント低下、非製造業(+60→+55)は5ポイント低下、全体(+58→+53)でも5ポイント低下となる見通し。



また、販売価格DIから仕入価格DIを引いた値(▲31→▲32)は1ポイント低下となった。円安による輸入物価の高騰などから仕入価格が高止まりし、企業の収益面での課題となっているとみられる(図2-5-2)。

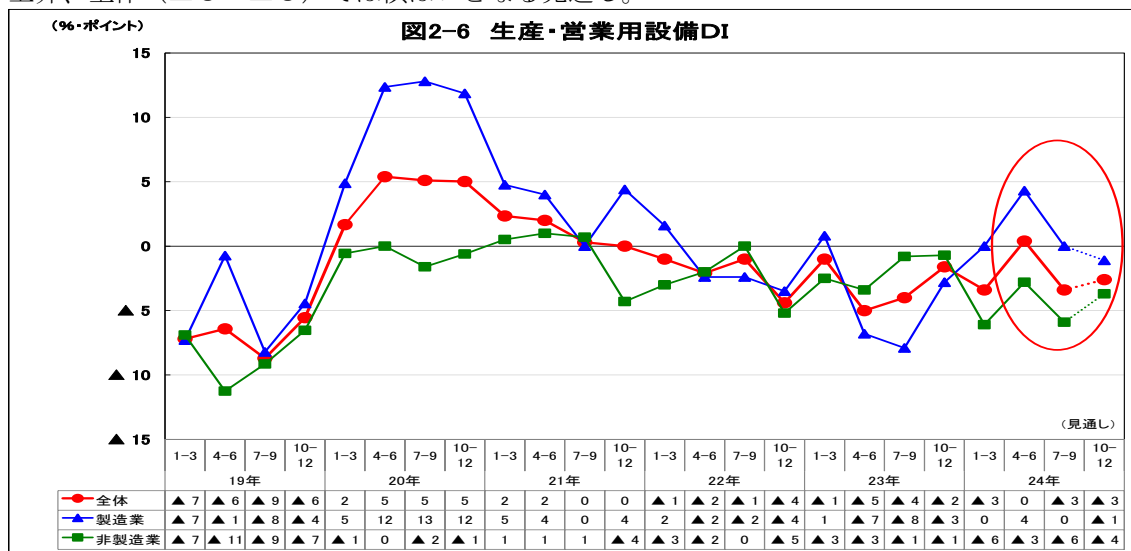


(6) 生産・営業用設備DI…2半期ぶりにマイナス水準(図2-6)

現在の生産・営業用設備DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は▲3で、前回(0)から3ポイント低下し、2四半期ぶりにマイナス水準となった。

業種別にみると、製造業(+4→0)は4ポイントの低下となった。繊維(0→+14)などで過剰感が強まり、非鉄金属(▲20→0)は不足感が解消したが、一般機械(+20→0)などで過剰感が解消し、金属製品(+17→▲7)は過剰から不足に転じ、化学(▲13→▲40)は不足感が強まった。非製造業(▲3→▲6)は3ポイントの低下となった。運輸・通信(+8→+10)で過剰感が強まり、卸売(▲5→0)は不足感が解消したが、その他の非製造業(+29→0)は過剰感が解消し、小売(▲19→▲26)などで不足感が強まった。

3カ月後は、製造業(0→▲1)は1ポイント低下、非製造業(▲6→▲4)は2ポイント上昇、全体(▲3→▲3)では横ばいとなる見通し。

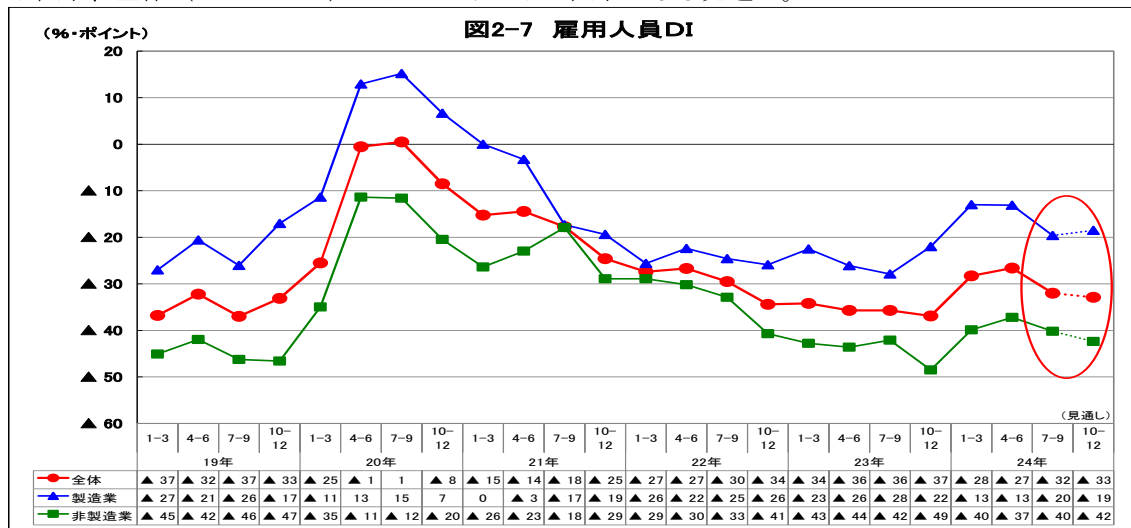


(7) 雇用人員DI…製造業、非製造業ともに不足感が強まる(図2-7)

現在の雇用人員DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は▲32で、前回(▲27)から5ポイント低下し、不足感が強まった。

業種別にみると、製造業(▲13→▲20)は7ポイント低下し、不足感が強まった。鉄鋼(▲67→▲33)などで不足感が弱まり、繊維(▲25→0)などで不足感が解消したが、金属製品(+6→▲27)は過剰から不足に転じ、一般機械(▲20→▲38)などで不足感が強まった。非製造業(▲37→▲40)は3ポイント低下し、不足感の強い状態が続いている。サービス(▲43→▲38)は不足感が弱まったが、小売(▲48→▲58)や運輸・通信(▲8→▲20)などで不足感が強まった。

3カ月後は、製造業(▲20→▲19)は1ポイント上昇、非製造業(▲40→▲42)は2ポイント低下、全体(▲32→▲33)では1ポイントの低下となる見通し。



3. 設備投資の実施状況

(1) 設備投資の実施割合…2四半期連続で50%を上回る(図3-1、表2)

今期(24年7-9月期)に設備投資を実施した(する)企業の割合は51%で、前回(4-6月期、51%)から横ばいとなり、2四半期連続で50%を上回った。

業種別にみると、製造業は57%で、前回(53%)から4ポイント上昇し、10四半期連続で50%台となった。一般機械(50%→13%)や鉄鋼(100%→67%)などで低下したが、繊維(50%→71%)や食料品(40%→60%)などで上昇した。非製造業は48%で、前回(49%)からはほぼ横ばいで、3四半期連続で50%を下回った。小売(36%→42%)などは上昇したが、不動産(54%→36%)や卸売(41%→36%)などで低下した。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が47%で10ポイントの大幅低下、非製造業が37%で11ポイントの大幅低下、全体でも41%と10ポイントの大幅低下となる見通し。

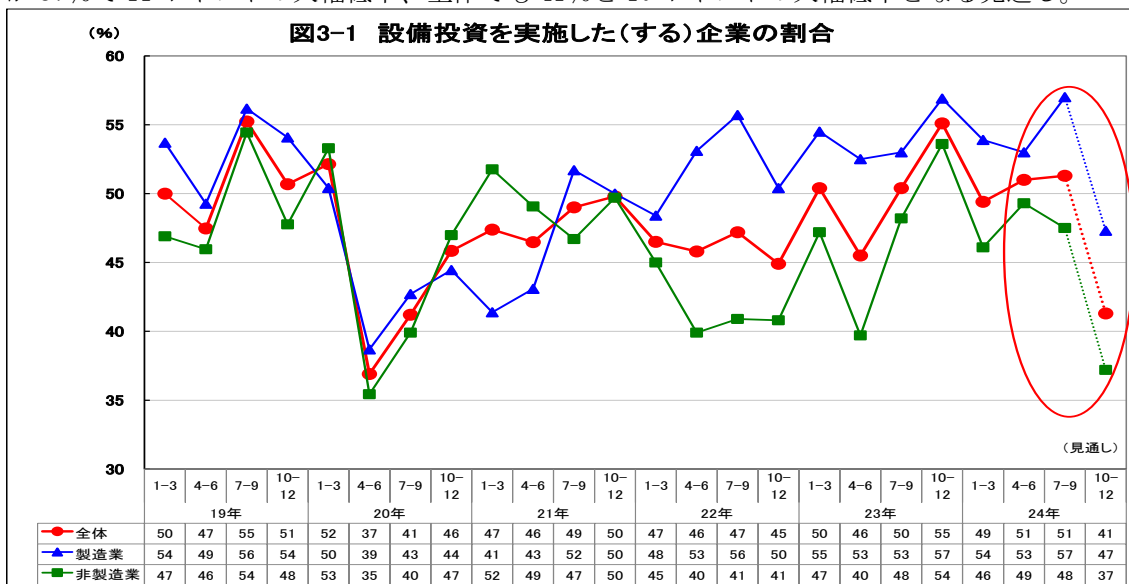


表2 設備投資を実施した(する)企業の割合(業種別詳細) (%)

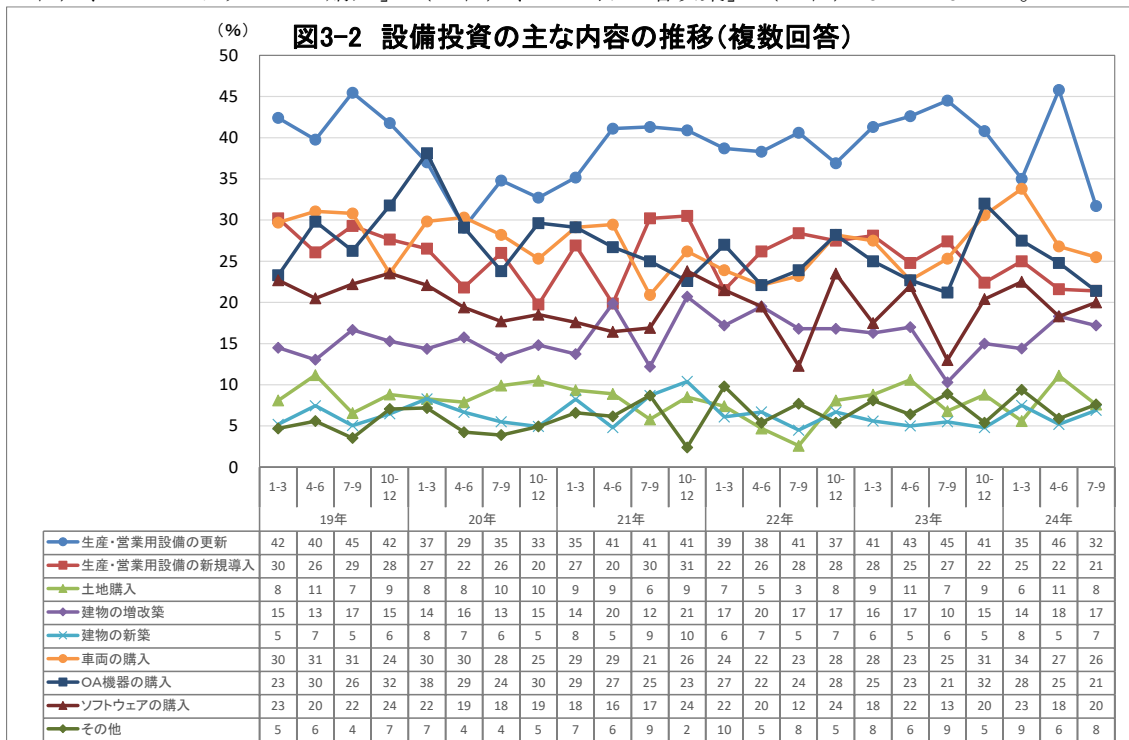
業種(※)	24年 4-6月期 前回	24年 7-9月期 今回	24年 10-12月期 見通し
全体	51	51	41
製造業	53	57	47
繊維	50	71	57
木材・木製品	×	×	×
紙・パルプ	×	×	×
化学	50	60	60
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	80	67	33
鉄鋼	100	67	67
非鉄金属	80	100	100
食料品	40	60	50
金属製品	67	53	60
一般機械	50	13	25
電気機械	20	25	38
輸送用機械	×	×	×
精密機械	×	×	×
その他の製造業	58	70	39
非製造業	49	48	37
建設	53	55	30
不動産	54	36	46
卸売	41	36	28
小売	36	42	39
運輸・通信	62	67	56
電気・ガス	×	×	×
サービス	62	67	48
リース	×	×	×
その他の非製造業	13	13	43

(※) 回答数が2社以下の業種は非表示

(2) 設備投資の主な内容…「生産・営業用設備の更新」が3割

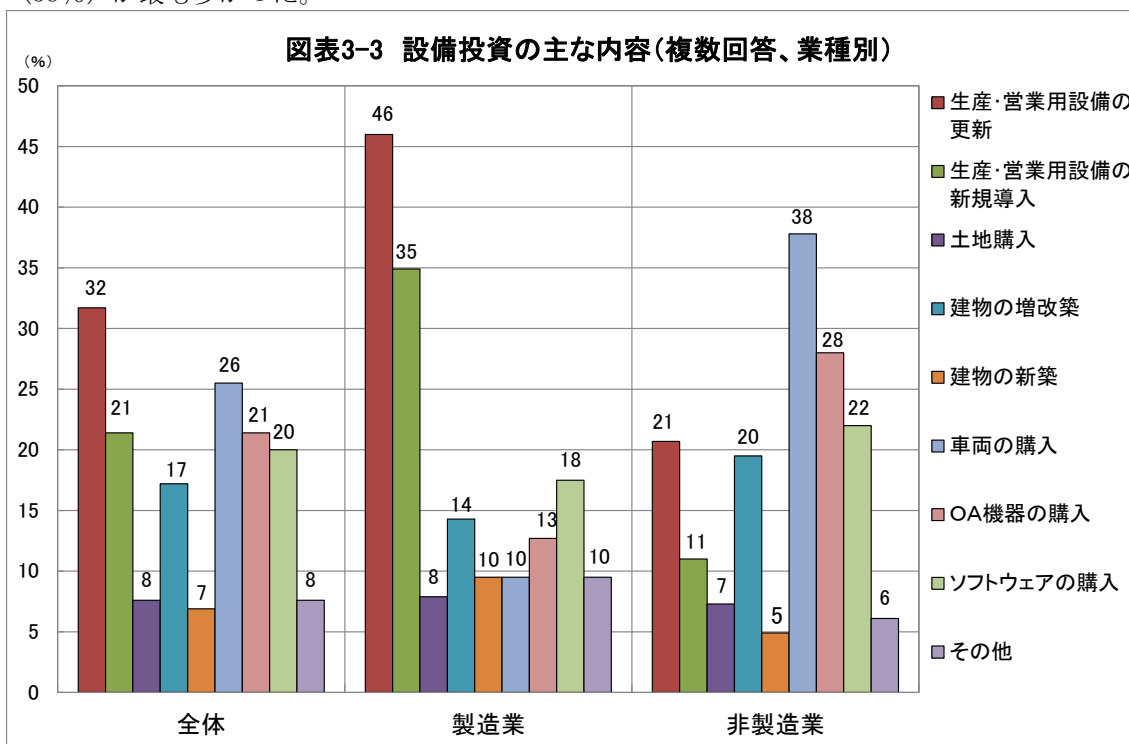
① 全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容を見ると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」(32%)が20年7-9月期から17四半期連続で最多となった。次いで「車両の購入」(26%)、「生産・営業用設備の新規導入」「OA機器の購入」(ともに21%)、「ソフトウェアの購入」(20%)、「建物の増改築」(17%)などとなった。



② 業種別の動向 (図3-3)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(46%)、非製造業は「車両の購入」(38%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
化学	・受注増に対応するため、生産を24時間体制とし、生産量を増やした。それにより売上は昨年対比で80%増加した。
非鉄金属	・自動車や光学用部品の新規受注もあり、9月以降に売上が伸びる見通し。
その他の製造業	・自動車関連部品の受注が増加し、売上が10%増加した。 ・8月の南海トラフ地震臨時情報の報道以降特需が発生し、ドラッグストアで当社商品の販売が増加した。10月以降は新製品の発売もあり上向き傾向。 ・価格転嫁が進み、売上が8~10%増加した。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	・中国経済の減速が影響している。
紙・パルプ	・売上が伸びず損益が悪化している。
化学	・年初~3月までは取引先の在庫調整で減収となった。7~9月も受注が低迷しており厳しい状況。
鉄鋼	・建設需要の低下に伴い受注価格競争が激しく、利益の確保が困難となっている。 ・材料費高騰の影響により、売上が減少傾向となっている。
食料品	・主力商品の販売が落ち込み、売上が前年比93%程度で推移している。 ・猛暑の影響で、売上が対前年比で94%程度となっている。原材料費や人件費等のアップにより利益も減少している。
金属製品	・4~6月度の売上が前年比約15%の減少。以降も同様の売上推移が続いている。
一般機械	・国内経済状況の悪化（特に工作機械関係）のため売上減少。 ・取引先の過剰在庫の影響で受注が減少し、売上が5~15%程度減少した。
電気機械	・中国景気低迷が影響している。
精密機械	・中国の景気が回復せず、業況はやや悪い状態が続いている。
その他の製造業	・海外子会社の売上減少により、子会社向け部品の売上が減少している。 ・物価上昇の影響で売上が5%程度減少した。

【非製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が18%増加した。 ・売上が過去最高となった。 ・受注残高が確保できている。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸物件の賃貸料を増額した。
卸売	<ul style="list-style-type: none"> ・4-7月の売上が前年対比で3%程度増加している。 ・インバウンド客が増加している。 ・販売価格を値上げし、売上単価が上昇した。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高が前年比102~105%で堅調に推移している。 ・リフォーム部門でエコキュートなど補助金についての問い合わせが増えている。
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年と比較して売上高が若干増加している。 ・売上がほぼ例年並みを維持できている。 ・2024年問題にからみ、値上げ交渉が進んでいる。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントが復活し、観光客も増加している。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・建築坪単価が7月以降上昇する見込みである。 ・公共工事が減少しており、他社との競争が激化し受注が30~35%減少した。
卸売	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍からの回復により需要増が続いていたが、販売先の在庫が必要量に達した。新規需要に関しては少し先の見通しとなる。 ・コロナ禍以降、元に戻らず落ちたままである。 ・最低賃金の急上昇に対応するため、全体の賃金水準を引き上げたが、それに見合う利益確保に苦戦している。 ・今夏の猛暑の影響などで売上が25%減少した。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇と猛暑の影響で売上減少。 ・前年同期比で売上が8%減少している。 ・資材価格が高騰し、物件成約率が低下。売上が20%程度減少している。 ・燃料小売部門は夏季で需要が少なく、仕入価格も上昇しており不調。
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年問題への対応で、トラック1台あたりの売上が減少している。 ・大手自動車メーカーの不正認証問題に伴う物流の停滞が影響している。
その他非製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足により、現場で働ける人員が減少した。

2. DI回答一覧（業種別）

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12
調査時期	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	▲14	▲10	▲6	▲7	▲16	▲6	1	0	58	58	58	53	27	26	26	25
製造業	▲26	▲13	▲13	▲16	▲25	▲7	▲3	▲4	54	53	57	50	21	25	24	25
繊維	▲63	▲50	▲57	▲43	0	0	▲43	▲14	50	63	86	71	13	25	14	29
木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	▲13	▲13	0	0	▲50	▲25	0	20	75	50	80	40	25	25	40	60
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	40	0	0	0	20	0	▲33	▲33	20	50	0	0	20	50	0	0
鉄鋼	▲33	0	▲67	▲33	▲33	▲67	▲67	▲33	33	33	0	0	33	33	▲33	▲33
非鉄金属	▲20	20	33	33	▲80	▲20	▲33	0	80	60	33	33	20	20	33	33
食料品	30	30	▲30	▲10	20	30	0	▲11	30	30	40	50	40	40	40	40
金属製品	▲39	▲17	33	▲13	▲33	▲11	27	▲7	56	44	67	53	39	22	47	33
一般機械	▲20	0	▲25	▲13	▲10	0	▲50	13	40	50	63	63	10	▲10	13	13
電気機械	▲10	11	0	25	▲20	0	0	▲13	50	40	63	50	10	10	13	0
輸送用機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	▲50	▲17	▲9	▲22	▲33	▲4	32	14	71	79	55	50	13	38	13	22
非製造業	▲4	▲8	▲2	▲1	▲8	▲6	4	2	61	62	60	55	32	26	27	26
建設	▲11	▲11	▲2	5	▲13	▲13	0	11	74	74	68	59	17	20	16	23
不動産	15	23	46	46	▲46	▲31	0	0	25	42	40	40	17	17	18	18
卸売	▲9	▲21	▲20	▲32	▲18	▲14	▲13	▲13	81	76	56	56	55	38	32	24
小売	0	5	▲39	▲12	▲9	5	▲21	▲6	50	52	68	63	46	43	58	47
運輸・通信	▲15	▲42	0	▲30	▲8	▲25	40	▲20	67	64	60	40	42	9	30	20
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	14	14	32	21	29	29	33	19	53	58	61	56	25	25	32	26
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	▲25	▲38	0	0	0	14	13	0	50	17	17	33	29	14	0	14

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12	24年 4-6	24年 7-9	24年 7-9	24年 10-12
調査時期	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	▲18	▲11	▲14	▲11	11	9	5	6	0	1	▲3	▲3	▲27	▲29	▲32	▲33
製造業	▲21	▲12	▲17	▲16	15	13	9	9	4	5	0	▲1	▲13	▲19	▲20	▲19
繊維	▲38	▲50	▲57	▲14	25	13	29	14	0	0	14	14	▲25	▲25	0	▲14
木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	▲13	▲13	▲20	20	13	13	20	20	▲13	▲13	▲40	▲40	▲50	▲63	▲40	▲20
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	40	0	0	▲33	▲20	▲50	▲33	▲33	20	25	0	0	▲20	▲50	0	0
鉄鋼	▲67	▲33	▲67	▲33	0	0	0	0	0	0	0	0	▲67	▲33	▲33	▲33
非鉄金属	▲40	0	▲67	▲33	0	0	0	▲33	▲20	▲20	0	0	0	20	0	0
食料品	20	30	▲30	0	0	▲10	0	0	0	0	10	10	▲20	▲30	▲20	▲20
金属製品	▲33	▲22	7	▲20	17	17	13	13	17	17	▲7	▲7	6	0	▲27	▲13
一般機械	▲20	▲10	▲38	▲38	11	22	13	25	20	20	0	▲13	▲20	▲40	▲38	▲50
電気機械	0	10	0	▲38	40	10	25	13	10	10	13	0	▲10	▲10	▲25	▲25
輸送用機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	▲33	▲8	5	9	17	26	▲5	9	0	4	9	13	▲17	▲17	▲9	▲9
非製造業	▲16	▲10	▲11	▲7	7	5	2	3	▲3	▲2	▲6	▲4	▲37	▲37	▲40	▲42
建設	▲13	▲20	▲16	▲5	3	3	10	8	▲2	▲2	▲5	0	▲52	▲56	▲52	▲57
不動産	▲31	▲15	0	0	0	8	▲36	▲36	▲8	0	▲9	0	▲8	0	▲18	▲9
卸売	▲27	▲27	▲16	▲24	27	18	24	24	▲5	▲5	0	0	▲32	▲32	▲32	▲32
小売	▲27	▲14	▲39	▲22	0	5	▲12	▲6	▲19	▲14	▲26	▲26	▲48	▲48	▲58	▲53
運輸・通信	▲46	▲17	10	0	20	▲10	0	▲13	8	0	10	10	▲8	0	▲20	▲20
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	29	38	14	14	6	0	6	6	0	0	▲5	▲11	▲43	▲43	▲38	▲43
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	▲14	0	▲14	▲14	▲17	0	▲33	0	29	29	0	14	▲25	▲25	▲29	▲43

※ 回答数が2社以下の業種は非表示（Xと表示）

以上